

宇都宮市立緑が丘小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
知識・技能を確実に身に付けられるようにする取組	6学年による算数の習熟度別学習、社会・理科の教科担任制によって、きめ細かく、専門性をもった学習活動を進めた。学習の際には、1時間の授業の学習課題(めあて)を児童に明確に提示し、見通しをもたせて課題に取り組めるようにする。授業の終末には学習のまとめと振り返りの時間を確保し、児童の学びを確かなものにする。	6学年の学力調査において、ほとんどの項目で市の平均を上回るか同等となっている。これは、算数における習熟度学習や、社会・理科における教科担任制において、一人一人にきめ細かく、専門的に学習指導の結果と思われる。しかし、「じぶんからすすんでべんきょうしていますか。」「学習に対して、自分から進んで取り組んでいる。」の質問に対しては学年によってばらつきがある。どの児童にも意欲をもたせられるような課題の設定が必要と考えられる。
思考力・判断力・表現力を高める取組	ペア学習やグループ学習を効果的に取り入れ、協働して課題に取り組めるようにする。さらに、集団の学びを個の学びに返し、個の学習を深められるようにする。考えたことをふり返りとしてノート等にまとめる。	「グループなどの話合いに自分から進んで参加している。」の質問に対して、学年によって肯定的回答に違いがみられる。コロナ禍でグループ活動が制限されたことも影響していると思われる。しかし、6年生の学力調査ではほとんどの項目において、市の平均と同程度かそれを上回るため、個の学びは深まっていると考えられる。 「授業で習ったことを分かりやすくノートにまとめている」の質問では、全学年で肯定的回答が市の平均を下回る。児童の言葉でまとめたり、ふり返りで自分の学びをふり返りノートに書くなど、個別にノートを工夫することが必要と考えられる。

★市の結果を踏まえての次年度の方向性

各教科の学習は大切だと感じている児童が多いものの、それぞれの教科が「好きですか。」の質問に対する肯定的回答が低いことから、できる喜びや、協働によって知識や考えを深めたり広げたりするような、学習の楽しさを味わえる活動を設定して行くことが肝要だと考える。学年によって課題となる領域や観点は異なるため、分析の結果を生かして基礎的基本的な知識や技能を習得する時間を設け習熟を図る。また、児童が主体的に取り組めるような学習目標や活動を設定し、児童相互のやり取りを通して深め、他教科や生活などに生かすことができるようにする。

インターネットやパソコンに関する質問については、肯定的回答が市の平均を大きく下回るものが多い。令和3年度から一人一台のパソコンを使用することもあり、情報モラルを守ることの重要性を理解しながら適切に使用することに慣れ、活用する機会を意識的に設けていく。更に、パソコンを利用し学習の楽しさを感じ、自主的に取り組もうとする意欲の高まりを支援しながら、学習内容の定着に生かしていく。